4. 我が校の学ぶ力向上策

よく考え　心豊かで　たくましく生きる　子どもの育成

Plan

学校体制づくり
三部会
・学力向上部会
・生徒指導部会
・特活部会
少人数教育推進委員会
体力向上委員会
OJT推進リーダー

Do

月一回の会議
実態や課題の把握
具体的な改善策の検討
具体的な取り組み
OJTによる研修

本校児童の学力の実態と課題

○語彙数が乏しく、言語能力やコミュニケーション能力、自分の考えを持ち表現する力が弱い傾向にある。
○課題に対して真面目に学ぼうとする意欲は持っているが、自分で工夫して解決しようとする力が弱い。
○お膳立てされたことはできても、あまり考えずに取り組んでしまうような学習態度が見られる。もっと自立させるべきで、『気遣い・気配り・自立』の養成を指導の根底に据える必要を感じる。
○算数科学力定着度調査中間テストの結果、平均前年比＋7ポイントと飛躍的な伸びを示した。計算分野はほぼ正答で、基礎的な力は確実にアップしたと言える。ただし、さらなる集中力・集中持続力の鍛錬が必要であると思われる。
○H29年度学力学習状況調査では、国語・算数の基礎・基本の力は身についているが、活用力や表現力に弱さを見せる傾向が現れていた。また、質問紙調査では、家庭での学習時間が少なく、自主的に学習する意欲が低い傾向にあることが見て取れた。逆に、テレビやビデオの視聴時間が長いという結果が出ている。

○明るく素直な子どもが多い。
○異学年同士でも仲良く行動をともにできる。
○自己肯定感、自尊感情が低い。
○学習習慣や生活習慣が身についていない子もいる。
○読書好きな子どもが多い。

○休み時間は外で体を動かす子どもが多い。
○たてわり班活動を中心とした遊びや集会に積極的に関わることができる。

学びを育てる

授業改善・学習意欲
・明確な学習目標の設定
・学習問題との出合わせ方の工夫
・見通しを持った単元計画、学習目標
・学習内容を定着させる、計画的なスパイラル学習
・個に応じた課題選択
・物語、文学、詩などの読み取り、小グループで読み取った内容を伝え合う学習
・思考力、判断力、表現力を高める

授業研究・教材研究
少人数指導
書画カメラ、電子黒板の利用

学習習慣と学びの形成
・話の聞き方、話し方
・学校図書館の利用と読書の推進
・家庭との協力
・自主学習の推奨

・ことばのしたじき活用
・みがきの時間の充実
・朝読書の推進
・ボランティアによるお話し会
・家庭学習の手引き
・家庭学習の定着化、学習規律の確立

学習態度の形成
・規律ある授業態度の育成
・基本的学習習慣の確立

自分の考えを表現する力
・考えたくなるような教材の導入や課題提示の工夫
・論理的な文章の書き方や接続語の適切な使い方指導
・語彙力を増やすための辞書活用
・書くことに抵抗をなくさせる指導
・音読指導の充実
・話す力の育成
・指導法の改善と開発

・学習規範の徹底
・あいさつ
・学習の準備
・生活リズムの規則化

音読集会（各学期1回）・スピーチ
日記指導・ノート指導・ノート展示会
学習発表会の設定・
話し方スキルトレーニング

心を育てる

集団づくり・学級経営
・あいさつ
・小松小のスタンダード
・小松の子の約束
・学習規律の確立
・共感的な人間関係づくり

共に生きる教育
・人権教育の推進
・人権の尊重された学習環境づくり
・特別支援教育の充実・たてわり活動
・あいさつとふれあい・地域との交流
・「心あったか小松っ子の日」の取り組

・あいさつ運動
・思いやりの言葉を広げる活動
・週1回の情報交換

・たてわり班掃除、遊び
・学年間交流、保幼小交流
・特別支援学級との交流
・養護学校との交流
・福祉施設訪問

身体を育てる

自然を生かした体力づくり
・たてわり登山遠足
・琵琶湖遠泳大会
・舞子浜マラソン大会
・箱館山スキー教室

遊びを通した集団づくりと体力アップ
・たてわり班活動・外遊び・集団遊び
・運動器具の配置
・健やかタイム(体力づくりの宿題)

大学生ボランティア
OB、PTAの協力
地域ボランティア

たてわり班活動の充実
ジャンピングボード・一輪車・三角馬・逆上がり板などの有効利用

家庭・地域、保・幼・小・中との連携
・家庭学習の手引き　・読み聞かせボランティア
・様々な体験活動・・・大学生ボランティア
・保幼小中連携　・学校協力者会議との連携
・子ども見守り隊との連携　・社協主催の寺子屋事業

Check

目指す子どもの姿

温かく思いやりのある子
・あいさつができ、温かい人間関係を築ける子

・相手の立場や考えを尊重できる子

自ら考え行動できる子
・言葉を通して豊かに表現できる子

・意欲的に学び、楽しく遊ぶ子

強くたくましい子
・多少のことではくじけない強い心と体を持つ子

・ひたむきに頑張る子

数値評価
・学校アンケート（年2回）・・・児童・保護者

・算数科学力定着度調査テスト（年2回、中間；10月、最終；3月）
→結果の考察から、次年度にむけて向上策を検討・改訂する。

・「我が校の学ぶ力向上策」見直しスケジュール
中間：10月検討・改訂
最終：　3月改訂

Action